

2026 年度 北見赤十字病院 （病床数 532床）【2 年次】

受入人数	【2年次】2名		研修手当				勤務時間	休暇				当直 /月	宿 舎	社会保険・労働保険等
常勤・ 非常勤	基本手当		賞与		時間 外	休日		有給		夏季	年末 年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤		550,000円		無	有	有	平日8:30～17:05		19日	有	有	2回程度	周辺のマンションを斡旋。住宅手当月上限28,500円手当あり	・日本赤十字社健康保険組合加入 ・厚生年金加入 ・労働者災害補償保険加入 ・雇用保険加入

○ 研修診療科（必修科目）について

科 目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
地域研修 (在宅を含む)	協力型病院の小清水赤十字病院、置戸赤十字病院が研修先としております。それぞれの施設では、地域の唯一の医療機関として医療を提供しており在宅、介護施設、行政等の関わりなど、貴重な経験を学ぶことが出来ます。
一般外来	当院では、内科、小児科、外科のローテでダブルカウントとして経験が出来ます。また、地域研修先でも初診患者の診療及び慢性疾患の継続診療の研修が可能です。
外科	外科医は11名在籍、その内8名は外科専門医を取得。指導は、部長・副部長が主に行います。特徴して、①消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、血管外科の疾患を診療できる体制を整えていること。②助手として多くの手術を体験できること。（一部の疾患では術者としての経験もできること。）③多くの消化器、呼吸器、乳腺、血管外科に対する検査を経験できること。です。
小児科	小児科は9名在籍、その内3名は専門医を取得。誕生の時から思春期までの子どもの成長、発達全体像を把握し、小児のプライマリ・ケアに対処できる基本的な態度、判断力、技術、知識を習得し、科学的根拠に基づいた医療を実践できる幅広い能力が求められる。また疾患や臓器だけではなく、子どもの心と、その家族もケアしていく必要がある。つまり子どもを全人的に診療する『総合医』としての能力が求められる。短い研修期
産婦人科	産婦人科医は6名在籍、その内2名は専門医を取得。特徴として、① 全ての産科、婦人科疾患を診断できる体制が整っていること。② 複数の指導医のもとで外来、病棟業務の研修を受けられること。③ 分娩、手術の助手を積極的に経験させる方針であること。④ 新生児科医の協力のもと、新生児に対する医療の基礎を学べること。⑤ 婦人科悪性疾患の症例数が多く、臓器別、進行期別、組織型別の悪性疾患の診断、治療の
精神科	精神科医は4名在籍、その内2名は専門医。外来診察が主になるが、受診患者は約140／日の状況である。特徴として、当院は総合病院内のリエゾン精神医学的診療のほか、精神科病棟を有し精神科救急も行っており、また外来新患なども多くデイケアも併設しているため、せん妄、自殺企図、急性および慢性的精神病状態、統合失調症、神経症、摂食障害、気分障害、認知症など、多様な精神疾患の診療を経験することができ
麻酔科	麻酔科医は9名在籍、その内3名は専門医。特徴として、当院は救命救急センターとしての役割のみでなく、地域の中核病院としても重要な役割を果たしている。そのため、二次から三次までの救急に対応しており、年間約7,300例の救急症例を受け入れている。また年間約700例の臨時手術症例があり、症例によっては、救急外来、臨時手術、術後の集中治療管理と一貫して治療に携わることが可能である。

○ 研修のアピール

当院は、北海道の3次医療圏の一つであるオホーツク医療圏の基幹病院として、地方センター病院、救命救急センターの役割を担っています。渡り廊下でつながっている道立北見病院とともに、高度急性期、急性期医療を提供しています。病院の理念である「人道・博愛に基づき、患者様を尊重した医療を提供し、地域の期待と信頼に応えます。」に基づき、臨床研修の理念を「人道・博愛に基づき、医師が、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識する。また、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身に付け、患者さまを尊重した医療を提供できるよう質の高い研修を行い、地域の期待と信頼に応える。」と定めこれを実践すべく、職員が一丸となって取り組んでいます。また、病院の基本方針の一つ「職員が成長でき、働く満足度が高い病院を目指します。」を達成すべく、平成24年から教育研修推進室に専任者を配置し、各部署と連携し活動を展開しています。私自身、「仲良く」「楽しく」「元気で」働くことが大切であると思っています。全国的にも地方病院における医師不足が問題となるなか、全ての職種による「チーム医療」を実践し、働き方改革にも取り組み、働きやすい病院を目指しています。当院は、地域の基幹病院でありオホーツク医療圏の最後の砦の位置づけであることから、外来・入院診療において多くの疾患や病態を経験し、内科系・外科系の総合的な診療の能力を身につけることができます。しかし、受け身の姿勢では研修の成果は期待外れのものとなり得ます。当院での勤務を開始した時から学生ではなく、社会人です。臨床研修を実りあるものにするためには、「どう教わるか」ばかりではなく、「どう学ぶか」を考えることができるかどうかにかかっています。能動的に経験を積みながら学び、研修体制を発展させ、当院の理念実現に貢献するスピリットのある医師を望んでおります。
--

○ 選択科目について（選択できる診療科）

整形外科	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科
眼科	頭頸部・耳鼻咽喉科	放射線科	病理診断科	緩和ケア内科
道立北見病院呼吸器内科	道立北見病院循環器内科	道立北見病院心臓血管外科		
備考				

※地域研修の施設は、記載されている協力型病院の施設に限られます。

研修実施責任者 齋藤高彦

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：教育研修推進室 長澤

住所： 北見市北6条東2丁目1

TEL： 0157-24-3115

E-mail：krc_kyoiuku@kitamirch.jp